

大分経理専門学校 青春メッセージ

第一線で活躍する 先輩たち

奥田 恵里奈さん(20)

短大併修科平成30年3月卒業＝楊志館高校卒＝

日産プリンス大分販売 (大分市)

机の上で学ぶだけではない

大分経理専門学校で「机上の勉強にとどまらないことを学べた」と話す奥田さん。クラスメートと共に一つの目標に向かって進む課題に取り組んだ経験を生かしながら、日々の業務に取り組んでいる。

美容系の仕事に興味があり、高校時代はエステティックコースで学んだ。人の体について学ぶなど授業は厳しかったが、楽しかった。大分経理専門学校への進学を決めたのは高校3年の秋。エステの道への就職も考えたが、もっと社会的な勉強をしたいと思ったからだ。

時間を見つけて車の勉強

「専門学校では、ただ机の上で学ぶだけではありませんでした」。税理士を招いた授業ではグループワークとして会社をつくる課題をこなした。5～6人のグループでの活動は、意見が分かれることも多い中で、仲間と方針をまとめることを経験した。人前で話すことが苦手だったが、「少しほはれられたかな」と言う。

日産プリンス大分販売に就職。地元で働きたいという希望がかない、佐伯店に配属された。車のユーザーからの要望を受け付けて整備部門に取り次ぐ業務や部

品の発注、清算事務を日々行っている。「車について学んだことがなかったので不安でしたが、時間を見つけて勉強をすることで楽しくなりました。車の整備現場にも立ち会っています」

堀川善経店長は「先輩社員が指導役を務めるメンター制度がありますが、先輩社員と共に昨年の社内ベストメンター賞を取るなど、飲み込みが早く仕事も目に見えて向上しています」と期待する。

先生の言葉が今も支えに

専門学校時代の税理士の先生の言葉は今も支えになっている。「何よりも先に自分がする」「やるなら、とことんやる」という精神でショールームの掃除なども隅々まで気を配りながら徹底して行っている。勉強する癖もつき、分からることはすぐに調べるようになったという。「今後もしっかり勉強して、一人で仕事をこなせるようになりたいです」



奥田恵里奈さん(右)と堀川善経店長

～未来の後輩へ～

大分経理専門学校では社会で役立つマナーなども学べます。グループワークといった活動では意見を出し合って、いいものをつくり上げることを学ぶなど、人間力を身に付けることができると思います。

2/17(日)・23(土) 学校説明会開催 要予約
10:00～12:00／13:00～15:00